

イスラエルのための祈り  
IDFの信者のために  
2026年3月16日恵比寿マンデー



# One for Israel 兵士のための奉仕部 主催の聖会

- ・ イランとの戦争が始まる数日前の週末に 聖会を開催

IDFユダヤ人信者とアラブ人信者の合計 約500人：全体の0.003%

(IDF総数は17万人:18才からの徴兵制 (男性32ヶ月、女性24ヶ月))

- ・ テーマ 護教論：信仰を擁護する *defending the faith*
- ・ 目的①信仰について合理的な説明ができる力を身に付ける場、励ましと交わりの場を提供
  - ②兵士たちが 信仰に立ち、周囲の人たちにとって 光と希望の灯台となれるように支援



## 聖会での学びの成果を最大化する工夫

- ・ 兵士が参加できる時間は短い中、幅広い内容をカバーする工夫が必要
- ・ 聖会の数週間前から参加者にデボーション資料を送信。事前に そのデボーションを通して参加に必要な事柄を学び、備えてもらった
- ・ 講師の側も 参加者も 限られた時間を最大限 有効活用することが出来た
- ・ 講義+ワークショップ形式で実践の場も提供。知識・情報+実践。

## 学びの内容

- 信仰と科学：両者は矛盾するのではなく、いかに共に働くものか。
- 信仰における真理と義：神が愛の神であると同時に義の神であること。
- 私たちの手に委ねられた神のみことば：聖書が真理の書であることに関する疑問に答えること。

「むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。」

## お祈りの課題

\* イランとの戦争の終結が見えない状況で 日々 国民を守るため戦っているIDF兵士たちが 守られますように。

\* 特に IDFのメシアニック・ジューとアラブ人クリスチャンたちが 霊肉守られ、みことばを握り 共に行動する兵士たちにとって 良き証し人として希望について弁明出来ますように。

\* イランに対する戦いで アメリカとの連携が 守られ 戦争が短期で終結しますように。